

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『顔にどろをぬる』

意味: はじをかかせて、その人の面目を傷つけること。

ひとこと: “顔”は対面や面目のこと。類義語: 顔を潰す/対義語: 顔を立てる。

使い方: 親の顔にどろをぬるようなことはするな！

『顔を立てる』

意味: 相手の面目を傷つけないようにすること。

ひとこと: 類疑語: 顔が立つ/対義語: 顔にどろをぬる・顔を潰す

使い方: ここは君の顔を立てて僕が引き下がるよ。

ことわざ

『溺れる者はわらをもつかむ』

意味: 本当に困るとどんなものでもたよりにすること。

ひとこと: おぼれると軽くて弱い“わら”にすら、つかまろうとすることから。

使い方: 合格したくてわらをもつかむ思いで、縁起のいいものを買った。

『親の心子知らず』

意味: 子を思う親の深い愛情を知らずに、子供は勝手なことをするという意味。

ひとこと: 親子だけではなく、親身に世話をした人の場合にも使うことがある。

使い方: 母が心配しているのに「親の心子知らず」で弟は勝手なことばかりしている。